

Vories
cure&care

病院ホームページアドレス
http://www.vories.or.jp/



ヴォーリス
だより

2017年（平成29年）1月1日 第115号

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ツ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

新春あけましておめでとうございます。



院長 周防正史

あけましておめでとうございます。年末は急激に寒気が下りてきたようで、例年になく寒い季節となりました。北ノ庄の山々も美しく黄色に染まり、病院本館裏、栗本邸のモミジの落葉が、秋の終わりを告げていました。外来では、インフルエンザの患者さんや、ノロウィルスの患者さんも来院されるようになり、冬の2大感染症がそろい踏みかと気を引き締める毎日です。

在宅療養支援病院を取得して1年が経とうとしています。在宅療養目的で他院からの紹介を受ける方、在宅療養支援を経て、当院から自宅へ帰って頂く方など、手分けして毎週10件以上の訪問診療をこなせるようになりました。訪問診療の目的は、住み慣れた自宅で、少しでも安心して生活を持続していただくことです。多くのお年寄りが、入院生活の場で、帰宅願望を訴えられます。入院生活とは、やはり非日常であり、入院設備は患者さんへ医療を提供することが優先されます。明るい病室、壁は白く、廊下はリノリウムで、汚れてもふき取りやすく、ベッドは看護師やケアワーカーの介護負担を考えて高さが調整されています。ベッドサイドに写真や小さなテレビ、小物を持ち込んで自室とは格段に異なる環境です。

訪問診療でできることと、できないことがあります。病院では、点滴の針刺しから、滴下速度の微調整、抜針から廃棄物の処理まで看護師さんがしてくれます。しかし訪問点滴では針刺しは医師や訪問看護師がしますが、滴下速度の微調整や抜針を家族の方をお願いする必要があります。診療も、聴診器と血圧計と触診で判断していかなければならず、採血してもすぐに結果を確認することはできません。在宅療養の目的と限界を、家族の方や患者さん本人、かかわっていただく訪問看護師やケアマネジャーと共有していかなければなりません。

来るべき2025年の超高齢社会到来にあたって、厚生労働省は、多くのお年寄りが「終の棲家」として、自宅で終末期を迎えたいと思っているから、と在宅療養、在宅診療を推奨しています。しかし終末期の対応は訪問看護師が寄り添っても、家人の負担は高く、最期の看取りは、相当なストレスとなります。おだやかな看取りだけではないのです。家族の思いをくみ取ってあげること、急激な変化に対し動揺されている家族に寄り添うことは、入院中であっても困難であることがあります。

在宅死が当たり前であった戦後ですが、病院が多くの市町村で整備され、昭和40年代半ばに在宅看取りから病院での看取りに替わってきました。多くの方が、よりよい終末期を入院治療に求めてきた時代でした。高齢化社会を迎えた昨今、在宅療養そして終末期と在宅看取りが、十分に時代に受け入れられてきたとは言えません。訪問診療で何ができるのか、患者さんや家族の思いをどう反映させて在宅で診療を続けることができるのか、入院時から関わる退院調整のスタッフ、引き受ける在宅現場チームの力量が問われています。

☆インフルエンザを予防するために☆

1. 予防注射をしましょう。
2. うがい・手洗いはこまめに。
3. 外出するときは、マスクを着用しましょう。

院内感染対策委員会

今
月
の
聖句

みなあが
御名が崇められますように

新約聖書 ルカによる福音書 11章2節



チャプレン 安部 勉

新たな年の始まり、「初詣」に行かれた方も多いでしょう。神社やお寺に詣でて神さまの前に、仏様の前に真摯な思いで捧げられた「祈り」が叶うことを願っています。

聖書の中でイエス様の弟子がイエス様に「わたしたちにも祈りを教えてください」と尋ねました。イエス様の弟子も「祈る」ことって一体どういうことなのだろう？と思っていたのかもしれませんが。

尋ねられたイエス様は「こう祈りなさい」と祈りを示しました。

父よ

御名が崇められますように

御国が来ますように。

わたしたちに必要な糧を毎日与えてください。

わたしたちの罪を赦してください、わたしたちも

自分に負い目のある人を

皆赦しますから。

わたしたちを誘惑にあわせないでください。

冒頭の祈りは「あなたの名前（神さま）が讃えられますように」「神の国が来ますように」という意味です。自分の「願い」を祈る前に「神さまへの感謝」と「神さまの国が来ますように」と祈りなさい、と。

苦しい時、不運や不慮の事故に見舞われた時な

ど素直に「神さまに感謝します」と祈ることはできませんがイエス様が教えてくれた「祈り」は「わたしたちのいのちを守ってほしい」「過ちを犯したことを赦して欲しい」との思いを「神さまに訴えていい」と言われました。

「祈り」は私たちの「思い」を「神さまに話します」との働きです。目に見える大きな力ではありません。でも病床にあっても、無力であっても「祈り」を捧げるという大きな働きを担うことができます。自分のために他の人が神さまに「祈っている」ことに気づいたならばきっと支えを感じることでしょう。看病している家族のために病者が「祈っている」ことに気づいた時、慰めを受けるのは患者さんではなく家族かもしれません。

私たちの「願い」はすべて叶うとは限りません。健康を願いつつ病を負うこともあります。無事を祈りつつ不慮の事故にあうこともあります。神さまの計らいは私たちに理解できないことばかりです。でも神さまが共にいてくださる、私たちの思いを受け止めて下さっているとイエス様は示されました。

私たちの願い、私たちの思いが神さまの思いと重なりますように。そして私たちの思い以上に神さまの示されたことがもっと意味深く大切なことであると受け止めることができますように。

在宅サービス部門だより

ホームヘルプステーションヴォーリス

(在宅介護予防拠点事業推進委員) 生駒 茂美

「介護予防」とは介護が必要な状態になることを予防すること、または状態の悪化を予防することを意味します。

介護予防のために当院では平成19年より近江八幡市からの委託をうけ、アンドリュース記念館にて年5回の介護予防教室、月1回のうたごえサロン、週1回のゴムバンド体操を実施しております。お陰様で現在ではたくさんの方々にご参加いただいております。

現在、滋賀県の健康寿命は男性70.67歳で全国18位、女性は72.37歳で全国最低の状況です。

男性の平均寿命は79歳ですが、健康寿命との差は9歳。女性は86歳に対して73歳だから13歳の差があ

ります。よって、平均寿命を超えたからといって「おめでとう」とは言えないのです。つまり、平均寿命と健康寿命の差が大きければ大きいほど病気で苦しむ期間が長くなってしまいうことです。

せっかくご長寿であっても、病気に悩まされたり、体が自分の思うように動かなくなったりするのを想像すると年をとることが不安になってしまいます。

そんなことにならないためにも心身共に「予防」の体を作り、健康寿命を延ばすことを目指していきましょう。

ご興味のある方は是非、お越し下さい。ご参加お待ちしております。

ヘルシー・クッキング 1月

七草粥

エネルギー 157kcal タンパク質 8.4g 脂質 0.6g (1人分)

(材料-4人分-)

- ・ごはん 300g (約茶碗2杯)
- ・七草 150g
- ・水 6カップ
- ・塩 少々



(作り方)

- ① 鍋にご飯、水、塩を入れて火にかけて煮立ててから弱火にして10分程煮る。
- ② 七草は塩ゆでにし冷水にとって冷まして（一度冷水で冷やすことで色が鮮やかになります。）水気を絞り、食べやすい大きさに切る。
- ③ ①の粥に②の七草を入れ、ひと煮立ちさせる。

1月7日と言えば「人日の節句」の七草粥です。 「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ」の七草が入った粥を食べて、一年の無病息災を願う風習として日本人にとっては馴染みの深い風習ですね。 1月7日は五節句の一つの「人日」で他にも「七草の日」や「七草の祝い」とも呼ばれているようです。

諸説ありますが、この七草を食べるようになった始まりは日本でなく中国でした。中国では毎年官吏の昇進を1月7日に決めていました。その大事な日の朝に薬草である若菜を食べて立身出世を願ったのが「七草粥」の始まりと言われています。この風習が日本へ伝わり、年の始めに若菜を摘み自然から新しい生命力を頂く「若草摘み」という日本古来の風習と結びついて「七草粥」となり、平安時代には宮中行事と

して食べられるようになりました。しかし、この時はまだ日本に定着しておらず七草の種類も現代の「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ」の七草ではなく時代や地域によって異なっていました。現代の七草となったのは室町時代とされています。やがて江戸時代にもなると七草粥は「人日の節句」（七草の節句）として五節句の一つになり定着していきました。

また、1月7日は松の内（1月1日～1月7日）の最後の日にあたります。七草粥の定着した背景にはお正月のご馳走に疲れた胃腸をいたわり、野菜の不足しがちな冬場の栄養補給をする目的もあったのかもしれませんが、まだまだ寒い日が続きますが「七草粥」を食べて冬本番を元気に過ごしましょう。

健康について

1病棟 松浦 旺彦

私は今年の春から一人暮らしをすることとなりました。そう決まった時から祖母は口酸っぱく「健康に気をつけるんだよ。」と言うようになり、その都度「自分も分かっているよ」と返していました。

身体的健康は睡眠、食事、運動の3つから成り立っているものだと知ってはいたのですが、食事に関しては今まで母に頼り切っていた事や、その他の家事に慣れていない事もあり疎かになってしまっていました。この度、食生活について簡単な所から改善していこう

と考え、1つ目は毎日3食食べること、2つ目は少しは栄養のバランスを考えること、3つ目はコンビニ弁当にあまり頼り過ぎないこと、の3つを意識した食生活を送れるよう努力したいです。特に2つ目は、最近ですと野菜ジュースなどがあるのでそれを活用していきたいと思えます。3つ目は、コンビニ弁当は手軽なのでつい買ってしまいますが、栄養のバランスのためにも、お財布のためにも控えようと思えます。



偲 ぶ 会

ホスピス 森 啓 一

11月12日にグリーンホテルにて、大切なご家族さまを亡くされた方を対象に偲ぶ会が行われました。

今回もたくさんのご遺族様が参加して下さい、妻や、夫、子ども、嫁など、同じ立場のご遺族の方達と、大切な方との思い出や、嬉しかった事、辛かった事、今どんな思いでおられるのかなどをお話し下さいました。

ご遺族同士でお話される中で、心の整理をされたり、新たな気づきをされたりと、互いの話に共感されることもありました。

ご遺族様の中には、泣いてはいけないと思い今日まで来

られたという方もおられ、この会に参加し、想いを話したりする中で、涙を流された方もおられました。

涙を流されつつも、会の終わりには皆様笑顔を見せて下さり、悲しみや、寂しさを抱えながらも、今を精一杯過ごされている姿に、いのちのバトンを受けつがれていることを感じる事ができました。

スタッフもそれぞれ刺激を受け、ケアの振り返りをさせて頂き、今後の看護・介護に生かしていけたらと感じた1日でした。

看多機 『友愛の家ヴォーリズ』 起工式

事務部長 堀 井 由 高

11月19日(木)10時より、看多機[※]『友愛の家ヴォーリズ』の起工式を挙行致しました。設計監理の(株)一粒社ヴォーリズ建築事務所、工事施工の(株)桑原組、北之庄町自治会長、当法人内部理事、病院・在宅関係者が集い、共に工事期間中の無事と安全を祈願しました。

安部チャプレン司式の下、第一部礼拝が厳かに進行。第二部起工式では、三ツ浪理事長より、当法人が「看多機」事業を担う事の意義や非常に厳しい工期にも拘らず誠意ある姿勢で請負いただいた(株)桑原組に対する謝意が述べられました。

その後、苅初(カリゾメ)の儀、穿初(ウガチゾメ)



の儀、鎮定(チンテイ)の儀が厳粛且つ滞りなく執り行われました。

「看多機」事業の意義・内容については、各関係機関紙や諸会議で紹介されており割愛しますが、建築工事は、現在基礎工事が終了し、1月中旬には鉄骨の概要が姿を現す予定です。3月下旬の建物完成まで、患者・ご家族・利用者様及び職員各位のご理解とご協力をお願い致します。

そして、5月のオープンに向けて、在宅部門を中心に各種準備に携わっていただいている所です。

※看護小規模多機能型居宅介護



管 理 職 研 修 を 終 え て

3病棟 國 友 奈 美

先日、管理職研修会に参加させて頂きました。研修の内容は、職場の一人一人が1つのチームとして、共通の目標・価値観を持ち仕事を行う事の大切さについてでした。職員一人一人が組織の一員として自覚を持ち、どのように行動しなければいけないのか、また、自分自身がどの様になりたいのかを考える為にSWOT分析を用いて考える方法を教えて頂きました。SWOTとは、外部環境や内部環境をS(強み)W(弱み)O(機会)T(脅威)の4つのカテゴリーで要因分析する方法です。

研修会では、グループワークをして、ヴォーリズ記念病

院の強み弱みを出し合い、カテゴリー別に分類、整理し、強み(魅力)弱み(課題)を導き出しました。

私は、この研修で講師の方が「課題に目を向け改善する事は得意だけど、良い所に目を向け発展していく事の大切さを再認識してほしい」という言葉にとても心を打たれました。病棟の弱い所やスタッフ個々の課題だけに取り組むのではなく、病棟の良い所にも目を向け、改善し、患者様が安心して入院生活を送って頂ける病棟にしていきたいと思います。

報告4

コンプライアンス研修に参加して

システム室 林 徹 夫

コンプライアンスとは、法律を守るという「法令遵守」に加え、社会通念上の範囲内も含めた遵守だと考えていたが、今回の研修に参加して、ハラスメントにまで枠を広げて考える必要があると気づいた。

上司・部下の関係の中で、パワハラの問題は常に付きまとう。研修の中でも、「社会的に許容されている範囲を超える場合」パワハラとされている。この「社会的に許容される」という点が非常に重要で、自分自身がどの程度許容範囲を理解しているか、正確に把握しておくことが大切である。

常々「報連相」の大切さは、様々な企業研修で説かれていたが、実践できなかった時こそトラブルに発展してしま

っている。大きなトラブルに発展する前に、小さな事柄にも閃く感性を持つことが大切で、常に相手のことを理解しようとする姿勢が必要だ。

仕事をする上で、期待に応えようと一生懸命努力をする。しかし相手が何を期待しているのか理解できていなければ、それは空回りに終わってしまう。つまり、まず相手を理解することから始めなければならない。それがより良い職場の風土創りにつながる。

「法令遵守」だけにとどまらず、さらに範囲を広げて解釈をする必要があり、豊かな組織風土を創るのは、コンプライアンスを意識する一人ひとりの行動・態度の積み重ねによるものだと学んだ。

報告5

病院クリスマス会

チャプレン 安部 勉

さる12月10日、老健センター1階に於いて病院クリスマス会を開催しました。

1部は礼拝。恒例の今年入職された方を中心とした聖歌隊がクリスマスの喜びを賛美しました。

引き続き、ボランティアの皆さんの人形劇、患者さんのマジックショーもありました。

第2部は「音楽の贈り物」と題して河本学さん、高村明代さん、吉田桂子さんによるヴァイオリン、ピアノ、ピアノの演奏でした。吉田桂さんはチェロの演奏もして下さいました。

そして三ツ浪理事長も合奏でヴァイオリンを演奏し、皆さんにはいつもと違う先生の姿に驚かれたことと思います。

最後に毎年お招きしています「おうみ作業所」の皆さんのご紹介と皆さまから捧げられた募金をお渡ししました。当日までの集められた献金は46,031円でした。皆さまの献金に心から感謝申し上げます。

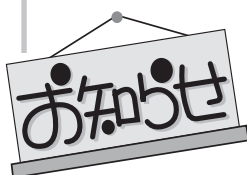


報告6

第244回 ミュージックタイム

さる2016年11月5日、「第244回 ミュージックタイム」を3病棟で開催致しました。今回、飯田和子さんとお友達による歌やピアノ、皆さんも参加される合奏など楽しいプログラムでした。毎回趣向をこらして、素敵な演奏とプログラムを用意してまいります。思い出に残る素敵な一時でした。





▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日 時 1月26日(木) 12:00~13:30 場 所 新館研修室(病院内)
講 師 看護師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



働く仲間を募集しています!

★看護師・訪問看護師・介護福祉士

“ケアの喜びを一緒に
感じませんか。”



詳細はお問い合わせ下さい。TEL 0748-32-5211(担当:澤谷)

近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内(平成28年度)

開催日程表

回	日 程	内 容	担当・講師
5	2月23日(木) 14:00~16:00	「おりがみ教室 PART X II」	ヴォーリス老健センター 施設長 鈴木 輝康 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員: 30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 5回目2月20日(月)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルパーステーション
担当 生駒
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

介護・入院・施設の入所等で、お困りのことが
ありましたら、ご連絡下さい。

TEL (0748)32-5211 (代)
FAX (0748)36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にございます。



お知らせ

平成28年度ヴォーリス記念病院「がんセミナー」のご案内

～テーマ「がんと向き合うところ」～



- 第1回 2017年1月28日(土)「抗がん剤の上手な使い方と限界」
三菱京都病院 緩和ケア内科 部長 吉岡 亮 様
- 第2回 2017年2月18日(土)「地域に、あなたに寄り添う薬局を目指して」
東近江市 丸山薬局 薬剤師 大石 和美 様
- 第3回 2017年3月18日(土)「悩んで深いですね、わかりますよ」
大津市民病院 臨床心理士 笹田 侑子 様

時 間: いずれも午後2時~午後4時

場 所: ケアハウス信愛館(近江八幡市北之庄町492-2)
(当院ホームページのマップをご参照ください。)

定 員: 30名

お申し込み 氏名、住所、電話、参加希望人数を明記のうえ、メールまたは
FAXでお申し込みください。

定員に達した時点で締め切りとさせていただきます。

(申し込み後、メールまたはFAXの返信をもって参加証といたします。
ご持参ください。)

【お問い合わせは】

公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 (ガンセミナー担当: 安部)

FAX: 0748-32-2152

E: [mail:vories-reihaidoh@vories.or.jp](mailto:vories-reihaidoh@vories.or.jp)

2017年度 集団栄養指導 糖尿病教室



*時間: 午後12時~午後1時半

*場所: 研修室(療養棟下)

*内容: 治療食の試食と各スタッフによる勉強会

1月26日(木) 看護師	7月27日(木) 薬剤師
2月23日(木) 薬剤師	8月 7日(月) 医師
3月23日(木) 管理栄養士	9月28日(木) 看護師
4月27日(木) 理学療法士	10月26日(木) 理学療法士
5月25日(木) 看護師	11月16日(木) 管理栄養士
6月22日(木) 管理栄養士	12月18日(月) 医師

*8、12月は月曜日になります。日程は変更する場合があります。